キラッと 江上っ子

えがおいっぱい　がまんづよい　みんななかよし　江上っ子

佐世保市立江上小学校
学校通信　１０号
R05.12.21（木）
文責　校長　堤　祐子

２学期もおせわになりました

いよいよ明日で長かった２学期が終了です。子供たちは本当によく努力し，いつの間にか大きく成長してくれました。そして，保護者の皆様，地域の皆様にはご協力いただきながら，本当に助けていただき，支えていただきました。感謝の気持ちしかありません。

充実した２学期を振り返りながら，自戒の念を込めて学校としての思いをお伝えしたいと思います。

教師こそ言葉力を身に付け，子供の人権を守りたい

１２月１日，児童会主催で「スマイルデイ（人権集会）」が行われました。子供と教師が知恵を出し合い，学校をよくするための取組を提案してくれました。

クラスからのスローガンが並びましたが，その中で目立ったのが「優しい言葉（ふわふわことば）を使おう」「仲良くなりたい」という言葉です。みんな仲良くしたい。でも，喧嘩になってしまう。そのことを子供たちはよく自覚しているようでした。トラブルがなかなかなくならない背景には子供たちの「言葉力」に課題があるように思えます。自分の気持ちを表現できない。言葉足らずがすれ違いや誤解となってトラブルになってしまう・・・。

言葉力が足りないのは大人（教師）も同じです。先日，教師が何気なく発した言葉が子供同士のトラブルにつながってしまったということがありました。冗談で言っても，受け取る児童が冗談として受け取らなければ傷つきます。わかっているはずの大人（教師）でさえ，過ちを犯すことがあります。本当に申し訳なく思います。まずは大人の私たちから，子供（相手）の目線になって気持ちを想像し，心に届く言葉を選んで指導しなければなりません。教師も間違ったらしっかり謝らなければなりません。私たちも謙虚に自分を振り返りながら，常に学んで言葉力を磨いていきたいと職員全体の場で共有しました。

そして，そもそも私たち教師は本当に子供の人権を守ることができているのか，自分の人権意識に問題はないのか，改めて考えました。旧態依然とした従来の価値観で指導していないか。自分が発する言葉は適切か。子供を指導するはずの言葉や心は子供に届いているか。感情で怒っていないか・・・・。そう振り返ると，感情的で子供の心に届かない言葉であったり，解決を急ぐあまりに子供の心に寄り添えていなかったりしたことが少なくありませんでした。まずは私たち教師自身の人権意識を高めなければいけないと，校長として自戒しつつ，強く決心したところです。

反対に，子供たちから暴言を言われたり，面白半分に「体罰だ」と言われたりすれば，私たちも傷つきます。子供のために誠心誠意頑張りたいと思う心に遠慮や躊躇が出てきてしまいます。それは子供たちのためにはなりません。いかにそのままの子供の姿を大切に，成長を願いながら効果的な指導を行っていくか。教師として大きな愛情をもってこれからも厳しく優しく子供に接し，教師としての力を磨いていきたいと考えています。

言葉は力をもっています。良い力も悪い力も。私たち教師自身が相手を思い大事にする心を言葉の力で伝えていきたいと思います。そして，たくさん褒めていきたい！「言葉力の足りなさ」とは「思っていても言葉に出して伝えないと伝わらない。」ということでもあります。ですから，時々保護者の皆様にお電話することがあるかもしれません。トラブルの報告だけでなく，お子様の良いところを積極的に伝えていきますので，聞いてくださいね。

子供たちだけでなく保護者の皆様のご不安にも積極的に寄り添い，子供たちをどう育てていくか，その成長のために共に同じ方向を向いて関わっていきたいと思っています。何かありましたら，遠慮なくご連絡ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

長々とした文章を読んでいただき，ありがとうございました。良いお年をお迎えください。（裏面へ）

江上小ならでは！特色ある体験活動のご紹介

米作りの総まとめ！餅つきを堪能し，美味しいお餅に舌鼓！（５年生）

12 月 15 日，5 年生の子供たちが米作り体験の 1 年の総まとめとして餅つきを行いました。朝早くから前川さんはじめ 6 名のボランティアの方々と 20 名前後の保護者の皆様に加勢いただいて，子供たちは昔ながらのうすと杵で餅をつき，日本の伝統文化を体験しました。友達同士杵を振り下ろすタイミングを計ったり，ぺったんと餅をつく感触を楽しんだり，熱い餅を見事に扱うボランティアさんの技に感嘆したり，大きな笑い声と笑顔に包まれた最高の時間でした。勿論，つきたての餅をみんなでいただきました。給食があるのに，全部ペロッと食べた子もいて，本当においしかったのでしょうね！

ダービースクールへ行ってきました！～交流学習復活～（３年生）

コロナの制限が解けて復活したのがダービースクールとの交流です。12 月 8 日私たちが招待されてダービースクールを訪問しました。クリスマスの雰囲気でにぎやかな中で，そのクリスマス飾りを作ったり，図書館でクリスマスのお話を読み聞かせていただいたり，いろいろなゲームを体験したり，プレゼントをもらったり！体験する中で子供たち同士あっという間に仲良くなり，アメリカの文化を肌で感じることができました。

感心したのは，子供たちが通路を通るときに，必ず誰かがドアを抑えて待ってくれたこと，絵をかいたりモノを作ったりしたときに「素敵ね」と褒めてくれたことです。「アメリカ人は基本的にネガティブなことは言わないの」と説明を受けました。見習いたいと思いました。次は 1 月 31 日，本校で日本文化を伝えます。

江上文旦を収穫しました（２年生）

江上は文旦の産地でもあり「江上文旦」と名がついていますし，文旦は本校のキャラクター，ブン君タンちゃんのモデルでもあります。地域の古川様にご指導いただいたその文旦づくりでしたが，12 月 12 日収穫の時を迎えました。自分の顔より大きな文旦がたわわに実り，子供たちはよさそうなものを選んで専用のハサミを使い，大事そうに収穫していました。昨年が豊作でしたのに，今年も豊作だったようです。

収穫した文旦がいい匂いで香ります。残念ながらすぐには食べられません。しばらく置いて，年が明けてから味わう予定です。今年の文旦のお味はどうでしょう？お楽しみはまた後ですね。

地域への恩返し～オレンジ作戦～（２年生）

12 月 13 日，いつも地域の方々に支えていただくばかりの子供たちですが，この日は違いました。早岐交通安全協会江上地区の皆さんからの要請で，交通安全運動に合わせて，ドライバーさんたちにみかんを配り，安全運転を呼び掛けることになりました。子供たちは張り切ってみかんと一緒に交通安全を呼びかけるカードを作りました。交通安全協会や見守りの方々と一緒にみかんとカードを配りました。ボードをもって声がかれるまで「安全運転お願いします」と呼びかけました。多くのドライバーさんたちが笑顔を返してくださり，役に立ったことをうれしく感じた子供たちでした。

自分の力にチャレンジ！～学力テスト～（全校児童）

12 月 13・14 日，全校学力検査に取り組みました。4 月にある市・県・全国学力検査と同様の形式のもので，冊子になっていてページ数も多いですし，時間がかかって集中力を要します。そんなテストを子供たち（主に高学年）は自分の目標を持って臨みました。目指すは昨年の自分を超えること。（昨年も実施しています。）家庭学習を自発的・自律的に頑張ってきた子供たちです。その自分の頑張りが自信となる結果になればよいなと思います。結果は 1 月末に分かります。楽しみに待ちたいと思います。